

## 2019年度事業計画

(2019年4月1日から2020年3月31日)

### 1 学術研究会、学術講演会の開催

(1) 第60回日本神経学会学術大会を下記のとおり開催する。

- ・大会長 楠 進 近畿大学医学部神経内科教授
- ・会 期 2019年5月22日(水)から5月25日(土)までの4日間
- ・場 所 大阪国際会議場 他

(2) 学術大会運営について

① 第64回学術大会大会長を選出する。

② 第61回学術大会(大会長 阿部康二岡山大学医学部脳神経内科教授)の準備を進める。

(3) 地方会開催

各地方会を次のように開催する。

北海道地方会(2回)、東北地方会(2回)、関東・甲信越地方会(4回)、東海・北陸地方会(3回)、近畿地方会(3回)、中国・四国地方会(2回)、九州地方会(4回)

### 2 学会誌の発行

(1) 臨床神経学の発行

機関誌「臨床神経学」59巻4号～60巻3号の全てを通常号発行する。また、学術大会抄録はサプリメントとして発行する。いずれも電子ジャーナルである。

(2) 英文機関誌の発行

英文機関誌「Neurology and Clinical Neuroscience」(Volume 7, Issue 3～Volume 8, Issue 2)を、隔月ごとに電子ジャーナルで発行する。

(3) 診療ガイドライン作成

① 改訂版として作成してきた神経疾患の遺伝子診断ガイドラインを出版する。

そして、HTLV-1関連脊髄症(HAM)診療ガイドラインおよび筋強直性ジストロフィー診療ガイドラインの作成をすすめ、年度内出版を目指す。

② 重症筋無力症診療ガイドライン2014、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、多巣性運動ニューロパチー診療ガイドライン2013、ギラン・バレー症候群、フィッシャー症候群診療ガイドライン2013、および慢性頭痛診療ガイドラインの改訂版作成を進める。

③ 2017年度に出版した認知症診療ガイドライン2017およびてんかん診療ガイドライン2018の英文版を作成する。両ガイドラインの英文版は、学会ホームページで公表する計画である。

### 3 啓発活動

#### (1) 市民公開講座を次の予定で開催する。

- ・ 第60回学術大会開催時市民公開講座

2019年5月26日(日) コングレコンベンションセンターホールA

#### (2) 広報活動

- ① 会員向けのニュースレターを発行する(第5号)。

- ② 医学生・研修医に脳神経内科の魅力を伝えるための「脳神経内科サマーキャンプ」を沖縄会場および岐阜会場の2か所で開催する。

また、企業が主催するレジナビフェアに東京、大阪の2カ所で参加し、医学生、研修医などへの脳神経内科の広報に努める。

- ③ 本学会認定施設で行われる神経内科を紹介する説明会やセミナー等の企画を、本学会ホームページで紹介する事業を引き続き行う。

#### (3) 医学生を対象とした学術大会への参加支援について

医学生を対象とした学術大会への参加支援(交通費補助)を、学会が主催して行う。

#### (4) 神経内科フォーラムの活動支援

昨年度に引き続き、神経内科フォーラムが企画・実施する脳神経内科と神経疾患を広報する活動を支援する。

### 4 研究奨励

日本神経学会賞を選考する。

### 5 研究推進

#### (1) 将来構想の検討

将来構想委員会を中心に、「神経疾患克服に向けた研究推進の提言」の見直しなど、本学会での研究活動に関する将来構想についての検討を進める。

#### (2) 産官学連携について

産官学連携による若手創薬研修会第2回「神経疾患に対する創薬トランスレーショナルリサーチを学ぶ」を開催する。

また、厚生労働省、文部科学省やその関係機関等への医師派遣や派遣者との意見交換の実施など連携を強化する。

#### (3) 脳神経内科領域の症例登録システムについて

脳神経内科領域の症例登録のあり方について、将来構想委員会の下においたWGで引き続き検討を進める。

#### (4) 他団体との連携協力

神経内科学・脳科学に関する研究を推進するために、日本学術会議、日本医学会、日本脳科学関連学会連合、そして関連する他学会等と連携・協力する。

### 6 専門医及び教育施設の認定

#### (1) 専門医

① 第45回専門医試験を次の予定で実施する。

- ・第1次試験 2019年6月8日(土)(東京大学教養学部駒場キャンパス)
- ・第2次試験 2019年7月13日(土)(日本都市センター会館)

② 第25回専門医認定更新を実施する。

#### (2) 教育施設

① 施設認定更新

2020年4月1日から認定する施設認定について、認定手続き(新規及び更新)を実施する。

② 指導医認定

2020年4月1日から認定する指導医認定を実施する。また、2020年3月31日で認定期間が満了となる指導医の認定更新を実施する。

#### (3) 専門医制度

① 新専門医制度に基づく脳神経内科領域における専門医育成のための研修を支援するとともに、専攻医が経験した症例を登録できるシステムの円滑な運営に努める。

② 神経内科専門医の基本領域化については、日本専門医機構、日本内科学会など関係機関の理解を得るための活動を引き続き行う。

### 7 会員を対象とした教育及び啓発活動

#### (1) 生涯教育講演会

① 第60回学術大会時に第16回生涯教育セミナー(レクチャー・ハンズオンセミナー)を開催する。

② Neuromuscular Conference 共催でハンズオンセミナー「神経・筋生検」を実施する。

③ 以下の支部で生涯教育講演会を開催する。

北海道支部、東北支部、関東・甲信越支部、東海・北陸支部、近畿支部、中国・四国支部、九州・沖縄支部。

#### (2) 専門医育成教育事業

① 第60回学術大会時に、第13回専門医育成教育セミナーを開催する。

② 2019年12月15日(日)に千葉県船橋会場で第14回専門医育成教育セミナーを開催す

る。

- (3) 特別教育研修会脳卒中コース（第2回）を、2019年9月15日（日）大阪市・梅田スカイビルを会場にして実施する。

#### (4) 教育コンテンツ配信事業

GSK 教育事業助成制度の資金をもとに、3か年計画で動画等の配信システムを構築するとともに教育コンテンツの充実に取り組む。

今年度は、最終年度になり、教育用画像システムの整備と専門医単位が取得できる e-ラーニングシステムの本格運用と、同システムで配信するコンテンツ制作を実施する。

#### (5) Excellent Teacher 表彰事業の実施

学会主催の教育セミナーの講師や教育用動画制作で教育活動に貢献した会員を表彰する。

#### (6) 会員の研修支援事業の実施

会員の国内及び海外での研修を支援する事業を実施する。

#### (7) 学術大会時の教育プログラムについて

第61回学術大会時の教育プログラムを検討する。

### 8 診療向上のための活動

#### (1) 診療報酬改訂への取り組み

- ① 2020年度診療報酬改訂に向けた準備を行う。
- ② 脳神経内科領域における遠隔医療診断の保険診療化に向けた検討を行う。
- ③ DPC/PSPS の不合理な分岐の是正に対する活動を行う。

#### (2) 新薬承認審査の促進等に関する要望活動

神経疾患患者に対する医療の質の向上を図る一環として、公知申請など未承認薬、新薬承認審査の促進に関する要望活動を積極的に行う。

### 9 国際協力

- (1) アジア地域の神経内科医との交流を通して神経学の向上に寄与する事業を継続する。今年度は、9月20日～22日、ミャンマー・ヤンゴンで開催される集会に4名の会員を派遣し交流を深める。

- (2) 国際会議の場など海外で、本学会の諸活動の紹介に努めるとともに、海外向け広報用動画の作成に着手する。

- (3) アジア諸国からのフェロー受け入れ事業を実施する。

(4) 第60回学術大会時に、EANF シンポジウムを、本学会が主催して実施する。

## 10 その他の事業

### (1) 災害時医療支援の充実

災害対策マニュアルの問題点と解決策について協議するため各都道府県の神経難病ネットワーク長、神経難病リエゾンとの連絡会議を開催する。

### (2) キャリア形成促進事業

男女を問わず、脳神経内科医としての資質を伸ばすために、学会員を対象としたリーダーシップ研修を取り入れた、実現可能な研修方法を検討する。

### (3) アーカイブズ事業

学会資料の保存方法について検討する。

## 11 一般社団法人としての運営

### (1) 理事選挙

2020年の学術大会終了後から任期が始まる理事選出のための選挙を行う。

### (2) 役職員選出のあり方に関する検討

2018年度に引き続き、役職員選出方法の見直しについて、あり方委員会およびその下におかれたWGを中心に検討を進める。

### (3) 日本医学会および日本医学会連合との連携

日本医学会と日本医学会連合の活動に協力し連携を進める。